

いしおか



提供：石岡まちづくりアカデミーⅢ

全 内 容

- 行政懇談会を開催
協働のまちづくりのために P2
- 市内各施設の放射線量 P4
- 市民協働まちづくり
学校をきれいに…草花ボランティアが活躍 P6
- 国保の保険証を更新 4月からは緑色に P10
- 「消すまでは 出ない行かない 離れない」
春季全国火災予防運動 P17

いしおかサンド 第2弾販売中！

11月24日に発売した「いしおかサンド」第2弾は、2店舗が加わってさらにバリエーションが豊かになっています。
「いしおかサンドぺろりスタンプラリー」の抽選も、残すところあと1回（3月31日応募締め切り）となりました。
スタンプを集めて、ぜひ応募ください。

● 問い合わせ 地域ブランド推進室
☎ 23-1111（内線 433）



1月11日、市内各地区の区長約1000人の出席のもと、ふれあいの里石岡ひまわりの館で行政懇談会を行いました。区長会からの統一質問や各地区の要望などについて、活発な質疑応答が行われました。そのあらましをお知らせします。

●問い合わせ

総務課
☎23・1111 (内線254)

行政懇談会を開催 協働のまちづくりのために

【石岡地区】統一質問

村上・六軒線と6号国道交差点の立体交差化について

市内の国道6号と村上・六軒線の交差点は、慢性的渋滞区間です。この渋滞を避ける車両が東大橋地内や東光台・旭台地内の道路を迂回し、一般市民や小中学校の児童生徒が危険にさらされています。地域住民にとっても、大問題になっていますので、渋滞解消と歩道の整備を強く要望します。

答 国道6号の渋滞緩和を図るため、6号バイパスは、国道6号バイパス建設促進期成会において、早

【八郷地区】統一質問

朝日トンネル開通に伴う各種要望について

昨年11月に朝日トンネルが開通しましたが、土浦側の出口から国道125号までの路線整備や、トンネルの案内標識の設置、そして大規模な道の駅や直売所の設置を要望します。

答 路線整備につきましては、現在つくば市笠間市間道路整備促進協議会のなかで早期着手を県に要望しています。また、案内標識につきましては、辻地区の交差点、土浦市トンネル出口に設置しています。新たに設置

するものに関しては、土浦市と協議していきます。

直売所に関しては、八郷地区にある四つの直売所で延べ1500人の生産者が6億円以上を売り上げていますが、出荷する生産者の増加が見込めないなどの理由により、新たな設置は難しい状況です。しかし、地域の活性化のためにも、幹線道路沿道の有効利用は、重要なことですので、今後も意見交換しながら、検討をしていきたいと考えています。

期開通に向けた整備および小美玉市への延伸を要望しているところですので、村上・六軒線と国道6号の立体交差化については、用地の確保など多くの課題が生じるため、大変厳しい状況です。

渋滞緩和を図るための対策案として、右折レーンの改修や信号機の右折時間の変更などが考えられますので、今後、調査を行いながら、検討していきます。また、歩道の整備については、児童生徒などの交通安全を確保するため、計画的な整備を進めていきたいと考えています。

【石岡中学校区】

石岡駅の橋上化と駅前・東ノ辻線の早期実現について

市の玄関口にふさわしい交通結節点としての石岡駅橋上化と駅前・東ノ辻線の早期実現により、石岡駅周辺の活性化を促進してほしい。

答 市では、平成22年度から「石岡駅周辺整備事業」として、石岡駅の橋上化などの整備を進めています。現在、詳細な設計を行っており、完了次第、工事に着手し、平成26年度末の完成を目指していきます。

駅前・東ノ辻線については、現在、市役所前の通りから村上・六軒線方面へ約200mの整備に着手しており、今年度内には、そのうち80mの工事を実施する予定です。

また、その先、村上・六軒線までの約1000mについては、平成25年度から用地および排水などの調査・測量を進めていきたいと考えています。

【府中中学校区】

国分寺・国分尼寺の再建について

石岡市第一次総合計画では、歴史・文化財の保護・活用がうたわれています。こうした中で、国分寺・国分尼寺の再建などを含め、歴史の街にふさわしい将来に向けた計画への考えを伺います。

答 市の歴史的財産である国分寺・国分尼寺を再建・復元することができれば、より多くの人に歴史を伝えることができると思います。しかし、それには詳細な発掘調査の成果と巨額の予算が求められます。また、国分寺は境内が民有地であり、現在も宗教活動の場として機能していることから、現在の位置に当時の国分寺を再建することは困難と考えます。

国分尼寺については、現在、回廊跡を石畳と植栽で表現したり、看板などで当時の建物の様子を伝え、少しでもわかりやすく案内できる工夫をしていきたいと考えています。

【城南中学校区】

県道石岡田伏土浦線の拡幅(歩道整備)について

高浜から井関へ続くこの道路は、道幅が狭いにもかかわらず、地域の基幹道路として大型車両などの通行が激しい場所です。歩行者や自転車の安全を確保するため、順次「歩道整備」が進んでいます。三村く石川坂井戸間は整備が遅れています。今後の見通しについて伺います。

答 この県道では、現在、三村羽成子く石川坂井戸間と愛郷橋出張所く愛郷橋の間に歩道がありません。愛郷橋までの区間については、愛郷橋架け替え工事とあわせ、県が整備するとのこと。

三村羽成子く石川坂井戸間の未整備区間については、早急に完成するよう、引き続き県に要望していきたく考えています。



歩道の未整備区間

【柿岡地区】

県道石岡筑西線の柿岡商店街の整備について

昔は車の通行量が少なかった柿岡商店街ですが、現在は車が大幅に増加しています。道路には歩道もなく、電柱が道路の端に設置されている所が多いため、歩行者が危険にさらされています。さらに、側溝の整備も十分な所があり、事故の原因にもなりかねません。電柱の移動または地中化を強く県に要望してほしいと思います。

答 県に確認したところ、現在の電柱は、東京電力とNTTが道路管理者である県と協議のうえで設置したとのこと。

電柱の移設には、地権者の同意が必要ですので、地権者などと話し合い、理解が得られれば要望していきたく思います。地中化についても、家屋などの後退や地権者の同意が必要になります。側溝に関しては、早急に改善の要望をしていきたいと考えています。

【瓦会地区】

道路の整備舗装について

宇治会第1区公民館から恋瀬川に沿ってのびる道路については途中まで整備されているものの、残り約350mが未舗装であるため使用できない状態です。この区間の舗装により、生活道路として通学路としても便利な道路となります。早急な舗装を要望します。



要望のあった未整備の道路

答 質問のありました道路の現状については把握していませんので、瓦会地区の最優先要望として、今後、年次計画で進めていきたいと考えています。

【林地地区】

柿岡中学校生徒の登下校路への街路灯設置について

林地地区から柿岡中学校へ通学する生徒は、多くが自転車による通学です。登下校する道路は、幅員が狭いうえ、曲折している見通しも悪く、部活動を終えての薄暗い下校時には危険を感じることが多くあります。市道の改良を望みますが、早急には無理だと思えますので、下校時の安全確保のために、街路灯の設置を要望します。

答 街路灯設置につきましては、教育委員会と協議をしながら進めています。ただいま要望のあった箇所については、すでに現地調査を行ったうえで、12月議会で予算措置をし、設置の準備を進めています。



電柱設置型の街路灯



ラマダン（断食）の時期、日没後に食事をとる風景。奥に写るのは、わら屋根の民家。（撮影 写真家 内藤順司氏）

みなさんが一つのお皿から食べるスーダンの食事。「みんなが食べるからおいしい！」そんなことに気づかされる時間です。

石岡から、世界へ

スーダンからのたより②

日本から遠く離れた、アラブ文化の影響を受けるアフリカの地スーダンで、母子保健活動を行っている石岡生まれ石岡育ちの櫻井文さん。

石岡で育つ子どもたちをはじめ、地元の方々に、海外の暮らしや文化、そこで働くことについて知ってもらい、世界に興味をもってもらいたい、スーダンから届けてくれた便り。

今回は、スーダンの食事についての紹介です。

スーダンの食事

スーダンでは、主食にパンや小麦粉・ひえ・粟をクレープやペースト状にしたもの、おかずには乾燥させた豆やオクラをペースト状にしたものをよく食べています。これらを丸い大きな盆にのせて家族で囲み、イスラム教で左手は不浄の手とされているため、右手だけで食べます。

スーダンの食事では、日本と違うのは食事の時間。朝は一杯のミルクティーだけ。スーダンで朝食と呼ばれるものは、11時頃に食べます。そして彼らにとっての昼食は、夕方4時頃。夕食は9時頃です。

夕食には「フル」という料理をよく食べます。家庭やお店で味や具材が変わるこの料理。暗闇の中、みんなでポウルを囲み初めてフルを食べた時、煮豆とチーズがうまく混じり味噌のような味になり、そのおいしさに感動しました。



ボウルで具材を混ぜて食べる「フル」。ちぎったパンと煮豆、野菜、チーズなど混ぜる具材は、その時々で変わります。



主食のキシラ（小麦粉で作るクレープ）を家庭で作っているところ。乾燥オクラのペーストや、トマトと玉ねぎのソースにつけて食べます。



アシーダ（とうもろこし粉の固い練り粥）にトマトや玉ねぎを煮込んだソースをからめて食べます。これも、もちろん手で食べます。



砂糖たっぷりのミルクティー。スーダンの人はたっぷり入れた砂糖をエネルギーにして昼までしっかり仕事をします。

なつめやしでつながる アラブの国と日本の食卓

スーダンの食事は、自然な味がします。お肉は冷凍されたり、パックに入ったりしていない、新鮮なもの。主食のクレープのようなものも、家庭で作るので保存料など余計なものは一切使われていません。

日中の厳しい暑さもおさまった夕暮れ時に、外に出て涼みながら、仲間たちとご一緒に座って食事していると、満開の桜咲く柏原池公園でお花見をしながら食事をしたことを思い出すことがあります。

場所は変われど、ごはんをみんなが囲んで食べることで、おいしさが増すというところは変わりません。ほっと安らげるひと時であり、大好きな時間の一つです。



櫻井 文さん
石岡市出身。府中中学校、石岡第一高等学校卒業。看護師経験を経て、フィリピンのNGOに勤務後、青年海外協力隊員としてマダガスカルへ。2年間の任期を終え、現在はNGO ロシナンテスの母子保健専門家としてスーダンで活動中。

わら屋根の家並みがかごまで続くスーダンでは、おやつによく「なつめやし」が食べられています。なつめやしは、ヤシ科の植物の果実で、乾燥させて食べると、干し柿やレーズンのような甘い味がします。

実はこのなつめやし、日本でも「ソース」の材料になっているのです。独特のとろみや甘味を出す成分「デーツ」と標記されています。皆さん、ぜひソースの原材料名を注意してみてください。遠いアラブ諸国で採れたデーツが、日本の食卓にも上っているのです。



市民協働まちづくり③

～住んでみたい住んでよかったまちを目指して～



学校をきれいに... 草花ボランティアが活躍!

ボランティアの皆さんと花壇の手入れをする児童

1月のある日、三村小学校を訪れると、校庭は見事に整えられ、花壇には色とりどりのパンジーが植えられていました。これは、学校の美化運動に加え、地域の草花ボランティアの皆さんが、日ごろから校庭の草取りや花壇の手入れ、掃き掃除などで学校に協力してくれている成果でもあります。

地域の草花ボランティアの皆さんは、4～12月は毎週月曜日、1～3月は月1、2回小学校に集まって活動しています。

ボランティア活動の始まりは、平成17年ごろ。「生徒数が減少し、校庭の利用範囲が狭まり、雑草が増えてしまつて…」との声を聞いた地域住民が、行動を起こしました。当初1、2人で始めた草取りも、今では15人もの人数に増えました。

活動の後は30分だけ、ティータイムを設けています。ボランティア会員相互の交流のほか、先生から学校の様子を聞いたり、子どもたちの地域や家庭での様子を伝えたりと、学校と地域が密接につながる大切な時間です。



▲花壇に植える苗木を種から育てるボランティアの皆さん

さらに、この活動は、児童と地域の交流へと広がっています。日ごろ、子どもたちはボランティアの皆さんに花壇づくりや草取りのコツを教わり、実践しています。そのお返しに、毎年11月の学校行事「三村ふれあい集会」に、ボランティアの皆さんを招待しています。集会では、子どもたちが発表会やマツサージをしたり、昔の遊びを教わったりするなど保護者や地域住民も含めて交流を深めています。



▲三村ふれあい集会で地域の皆さんと交流する児童

今年度、三村小学校はその環境美化活動が認められ「茨城県学校関係緑化コンクール」学校環境緑化の部」で入選し「緑の少年団活動コンクール」では、(社)茨城県緑化推進機構会長賞を受賞。さらに「花と緑の環境美化コンクール」でも、大好きいばらき県民会議理事長賞を受賞しました。

校長先生は「学校もきれいに、子どもたちも地域の中で温かく見守られていてありがたいです」と話しました。

草花ボランティアの活動によって、学校と家庭と地域住民がつながり、子どもたちは地域全体に見守られ、育てられています。

❖問い合わせ 生活環境課
☎23・1111
(内線141)

まちの話題 できごと

パラ五輪メダリストの藤田選手
吉生小で講演会を開催



▲藤田選手のロードバイクでの走りを見つめる児童

1月24日、吉生小学校がロン
ドンパラリンピックの銅メダリ
スト藤田征樹選手（日立建機
土浦工場研究本部勤務）を招き、
講演会を開催しました。

これは、児童に夢や希望を持
ち、失敗や挫折に屈せず、たく
ましく生きることの大切さを学
んでほしいと開催したものです。
藤田選手は、大学2年の時に
交通事故に遭い、両足をひざ下
で切断し、義足での生活になり
ました。一時は絶望
したものの、パラサ
イクリングに出会
い、不屈の精神で努
力し、北京・ロン
ドンの両パラリンピッ
クに出場。自転車
ロードタイムトライ
アルでメダルを獲得
しました。

当日の講演会に
は、児童61人と教師
や保護者などが参加
し、藤田選手が子ど
もだったころの話
や、事故に遭った時
のこと、自転車競技
を目指すようになった

理由などの話に耳を傾けました。
藤田選手は「苦しいことがあつ
ても自分ではできると信じ、諦め
ずにチャレンジしてほしい」と
児童にエールを送りました。

講演後、藤田選手は児童の中
に入ってメダルを披露。続けて、
ロードバイクでの走りを実演し
たり、代表児童3人と自転車
競い合ったりしました。
児童から「諦めないことの大切
さを学んだ」との声が聞かれ
ました。

社明運動の講演会に 110人が参加



▲社会を明るくする運動作文コンテスト表彰式（中央公民館）

市では、犯罪や非行のない地
域社会を築くため、「社会を明
るくする運動」を推進していま
す。その一環として、1月26日
に中央公民館で、講演会を開催
し、110人が参加しました。

当日は、講演に先立ち石岡市
推進委員会主催の作文コンテス
ト表彰式と、入賞者代表の園部
小6年の田中玲衣さんと府中小
6年榎本怜美さんによる作文朗
読を行いました。

講演会では、埼玉県青少年総
合野外活動センター所長の廣川
俊幸氏が「生活体験というキャ
ンプの必要性」と題し、青少年
の健全育成やたくましい子ども
の育て方について、キャンプの
写真や動画などを紹介しながら
講演しました。

参加者からは「異年齢間で遊
んだ、楽しかった子どものころ
を思い出した」「野外活動など、
触れて学ぶ大切さを改めて知っ
た」などの声が聞かれました。

統計調査員6人が県統 計功労者表彰を受賞

1月23日、茨城県庁で平成24



▲統計功労者表彰式に出席した受賞者

年度茨城県統計功労者表彰式が
開催され、長年統計調査に尽力
した調査員が表彰されました。
市からは、6人が受賞しまし
た。

- 茨城県統計協会総裁表彰
・中村良三 ・秋山八重子
・鈴木福男 ・秋山享弘
・赤津恵美
- 経済産業省大臣官房調査統
計審議官感謝状
・九頭利夫

（順不同・敬称略）
また、式典の中で平成24年春
の褒章受章者として、宮内忠さ
んと常盤桂吉さんが紹介されま
した。

新成人851人を祝い 成人式を開催

1月13日、石岡市民会館で成
人式を開催しました。今年、成
人式を迎える新成人は、851
人です。

式典の運営は、市内8中学校
を卒業した新成人の代表が、運
営委員として自ら行いました。

当日は、真新しいスーツや羽
織袴、華やかな振袖姿の新成人
が式典に出席しました。



▲謝辞を述べる成人代表（石岡市民会館）

市長は式辞で「自分の将来像
をしつかりと見据えて、ゆるぎ
ない信念と決意で、力強く歩ん
でいってほしい」とあいさつし
ました。

その後、記念品贈呈や来賓祝
辞に続き、新成人による意見発
表や謝辞などが行われました。
式典終了後には、会場前で中学
校ごとに記念撮影を行いました。

撮影終了後も、会場前には多
くの新成人が残り、久しぶりに
再会した友達と、楽しそうに歓
談したり、写真を撮
り合う姿が見られま
した。

柿小で恒例の 書き初め大会

1月17日、柿岡小
学校体育館で書き初
め大会が開催され、
八郷硯友会の会員10
人が、ボランティア
で指導援助にあた
りました。

柿小では、新たな
気持ちで一年をス
タートしてほしい



▲書き初めの指導を受ける5、6年の児童

と、伝統的な習慣である書き初
めを毎年行っています。

児童は、床に敷きつめた新聞
紙に書き初め用紙を広げ、決め
られた課題を真剣に書き上げま
した。会員たちは、児童の間を
回りながら、筆使いや姿勢のア
ドバイスをしたり、手を取った
りしながら指導しました。

書き上げた子どもたちは、満
足げな笑顔を見せていました。

三村小で 「親子の集い」を開催

1月19日、三村小学校体育館



▲ウイングブレード協会の指導でウイングブレードを作る参加者

民間自治功労者表彰 を受賞

平成24年度の民間自治功労者
として、市内在住の岩崎恒男さ
んと櫻井仁博さんが、茨城県市
長会から表彰されました。

岩崎さんは、駐在員・区長、
区長会役員として活躍する一
方、石岡離子連合保存会創設に
関わり、設立後は、その役員と
して石岡離子の伝承や技術向上
に尽力しています。

櫻井さんは、農業委員会委員
や区長、合併協議会委員として
活躍。さらに、生業の瓦の製造・
施工に関し、様々な役員を歴任
するほか、八郷瓦の伝統の継承
や発展に努めています。
二人は、これらの功績が認め
られ、今回の表彰となりました。



櫻井 仁博さん



岩崎 恒男さん